

2024 年卒

6 月 1 日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2024 学生モニター調査結果 (2023 年 6 月発行)

2024 年卒業予定者の採用面接が今月 1 日に正式に解禁され、就職戦線は山場を迎えている。コロナ禍からの経済回復が進み、企業の採用意欲が高まる中で、内定率はどのように変化しただろうか。6 月 1 日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況を調査した。内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 6 月 1 日時点の内定状況

- 内定率は 81.3%。前年同期実績 (76.9%) を 4.4 ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の 58.1%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて 42.0%

2. 内定保持学生の未決定理由

- 「本命企業がまだ選考中」が最多。「複数内定で優劣つけがたい」が前年より増加

3. 未内定者の見通し

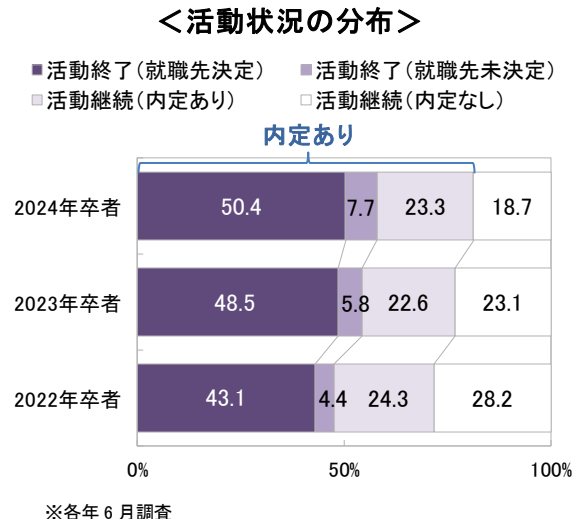
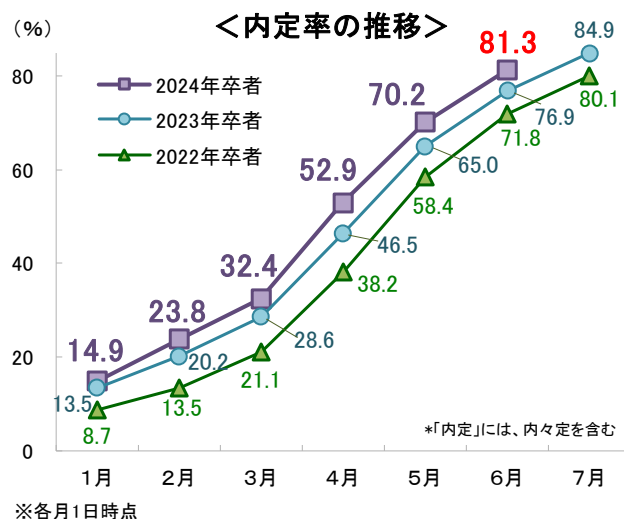
- 未内定者の約 7 割 (69.8%) は「内定の見通しが立っていない」

※「内定」には内々定を含む

1. 6 月 1 日時点の内定状況

6 月 1 日現在の学生モニターの内定率は 81.3%。先月調査 (5 月 1 日、70.2%) からの 1 カ月間で 11.1 ポイント上昇し、前年実績 (76.9%) を 4.4 ポイント上回った。今期は序盤から高い内定率を記録。高水準で推移した前年 (23 年卒) をさらに上回るペースで進行し、選考解禁のこのタイミングで 8 割台をマークした。ただ、4 月以降、前年同月との差は徐々に縮まってきた (6.4 ポイント差→5.2 ポイント差→4.4 ポイント差)。

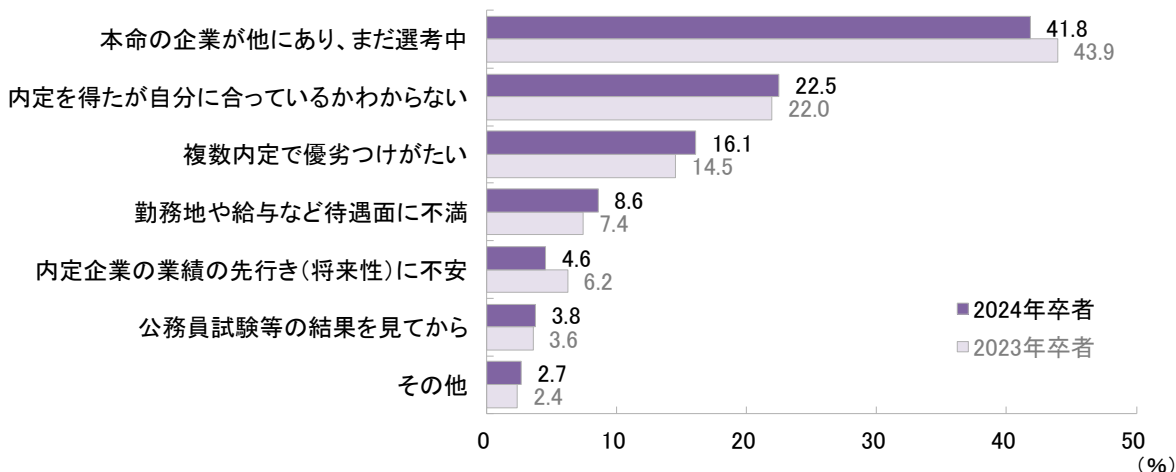
調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の 50.4%。複数内定を保留しているなど未決定である者 (7.7%) を合わせると、終了者は 58.1%となる。活動継続者は「内定あり」(23.3%)、「内定なし」(18.7%) を合わせて 42.0%。



2. 内定保持学生の未決定理由

内定取得学生のうち就職先を決めていない者（モニター全体の 31.0%）にその理由を尋ねると、最も多いのが「本命の企業が他にあり、まだ選考中」という回答で（41.8%）、本命企業の結果次第という状況だ。「自分に合っているかわからない」（22.5%）、「複数内定で優劣つけがたい」（16.1%）と続き、内定は得たものの承諾を迷う学生が一定数いることがわかる。

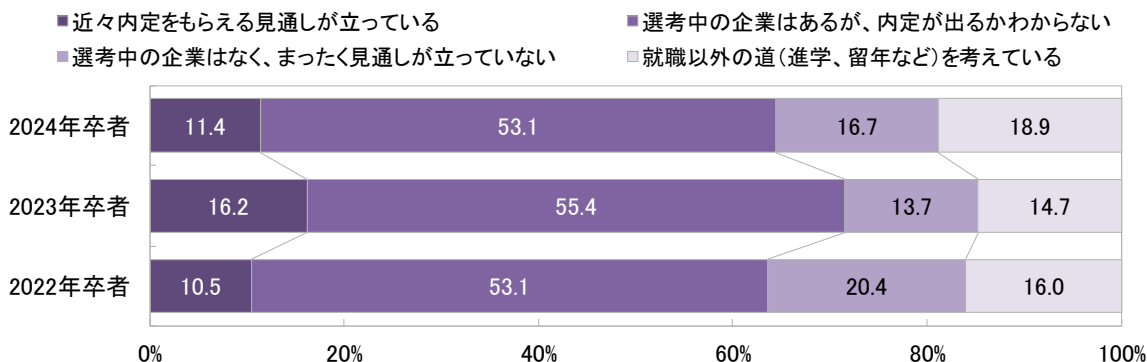
＜内定保持者が就職先を決めていない理由＞



3. 未内定者の見通し

未内定の学生には内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」という回答は1割程度にとどまり（11.4%）、前年同期（16.2%）を下回る。最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」（53.1%）で、ここに「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」（16.7%）を足し合わせると 69.8% になり、未内定者の約 7 割が先の見えない状況にあるようだ。高水準の内定率の一方で、厳しい状況の学生も見られる。

＜未内定者が内定を得る見通し＞



調査概要

- 調査対象 : 2024 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生（理系は大学院修士課程 2 年生含む）
- 回答者数 : 1,221 人（文系男子 377 人、文系女子 366 人、理系男子 327 人、理系女子 151 人）
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2023 年 6 月 1 日～5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2024 学生モニター